

常潤の誉れ

鹿児島県立加世田常潤高等学校

📺 サルビアで砂の祭典を華やかに



4月28日、吹上浜砂の祭典会場に飾る花のプランター引き渡し式が常潤高校で行われ、食農プロデュース科の2年生が育てた赤色のサルビアの花50箱200株が砂の祭典実行委員に引き渡されました。中村愛梨さんは「1月から育ててきた。市の一大イベント吹上浜砂の祭典を華やかに彩り、たくさんのお客様の笑顔を生み出す手伝いができる嬉しい」と話しました。



砂でつくる夢と感動 2023



吹上浜 砂の祭典

SAND FESTIVAL in MINAMISATSUMA

アニマルワールドツアー

～世界の名所で出会う動物たち～

今年で3回目の、まちなか開催 テーマは世界の動物たち！

36回目となる吹上浜砂の祭典は、昨年引き続き市役所周辺・本町通り商店街周辺・加世田麓の3エリアと吹上浜海浜公園をサテライト会場として、まちなか開催。各会場のコンセプトに沿って各種イベントや特産品・雑貨等の販売、出店やキッチンカーでの販売等が行われました。今年、砂像テーマは「アニマルワールドツアー」。世界の名所で出会う動物たち。世界の名所とその国の動物が表現された30基の精巧な砂像と、加世田常潤高校の生徒が栽培したサルビアや、市内の農園が栽培したマリゴールドで彩られた会場では、「今にも動き出しそう」とうやうや作っているのかと驚きの声や、「見て！ナマケモノがいるよ！」「キリンさん大きい！」と子どもたちの元気な声がありました。



また、今回の砂の祭典では、日頃から本市と交流のある北海道旭川市のほか、台湾台北駐福岡経済文化弁事処から代表者が来場し、交流を深めました。さらに、北海道旭川市から北海道教育大学の2年生3名が、旭川の旭山動物園にいるライオンとシロクマをモチーフにした砂像を制作しました。今年で3回目となるまちなか開催は、多くの人々のご協力もあり去年より4割ほど多い約4万9千人が来場しました。今後もより多くの皆様へ、砂でつくる夢と感動をお伝えできるよう、挑戦と進化を続けていきます。

